



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月30日

上場会社名 株式会社 Jストリーム 上場取引所 東
 コード番号 4308 URL http://www.stream.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石松 俊雄
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 帰山 直之 TEL 03-5765-7744
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,770	6.3	137	16.1	143	16.3	194	208.3
29年3月期第2四半期	2,605	11.1	118	34.2	123	36.5	63	38.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 193百万円 (174.1%) 29年3月期第2四半期 70百万円 (30.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	16.73	—
29年3月期第2四半期	5.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	4,613	3,809	77.5	307.29
29年3月期	4,475	3,682	76.9	295.95

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,574百万円 29年3月期 3,442百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.40	5.40
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100	10.5	350	4.8	350	0.9	210	1.8	18.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	14,028,700株	29年3月期	14,028,700株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	2,395,452株	29年3月期	2,395,452株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	11,633,248株	29年3月期2Q	11,633,300株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報	２
（１）経営成績に関する説明	２
（２）財政状態に関する説明	２
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	３
２．四半期連結財務諸表及び主な注記	４
（１）四半期連結貸借対照表	４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	５
四半期連結損益計算書	
第２四半期連結累計期間	５
四半期連結包括利益計算書	
第２四半期連結累計期間	５
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	６
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項	７
（継続企業の前提に関する注記）	７
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	７
（セグメント情報等）	７

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、個人消費の緩やかな回復から内需拡大についての期待が見られるようになり、極東での政治的不安定や国内政治の混乱はあるものの、株高も進み、全体として景気は拡大傾向で推移しました。インターネット業界においては、4Kテレビの需要が増加し、VR(仮想現実)関連のハードウェアやAI、IoT関連サービスの発表が続き、成長性のある市場として注目を集めました。

こうした環境下、当社グループでは、動画広告等成長性の高い市場開拓のための調査や投資を進めつつ、主力サービスである「J-Stream Equipmedia」や「J-Stream CDNext」、ライブ配信等、企業の社内における動画利用に関連して堅調な需要があるサービスの販売に注力しました。

販売面においては、医薬系業界を中心としたライブ配信や付随するコンテンツ制作等の案件の需要が堅調となり、その他の業界における受注も概ね安定して推移しました。WEB関連の制作は前年同期並みの推移となりましたが、映像制作関連受注は前年を下回りました。

費用面においては、開発・運用体制の強化やライブ配信の案件増、制作系子会社の減員への対応等に伴い外注費が増加しました。販売費及び一般管理費については、特段の増加要因がなく前年同期並の実績となりました。

なお、清算手続きを進めてまいりました連結子会社である株式会社アップアローズにつきましては、平成29年6月29日をもって、清算結了いたしました。これに伴い同社の繰越欠損金の引継により当社の税金費用が減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益の増加要因となりました。また、平成29年8月31日をもって、多チャンネル事業者・CATV事業者向けのエンコード設備等のインテグレーター業務等を営む株式会社イノコスの株式の90%を取得したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めたため、資産等の増加要因となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高2,770百万円(前年同期比6.3%増)、連結営業利益137百万円(前年同期比16.1%増)、連結経常利益143百万円(前年同期比16.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益194百万円(前年同期比208.3%増)となりました。

セグメントの売上は次のとおりであります。

(配信事業)

配信事業は、当社グループが保有する配信インフラ、ネットワーク、ソフトウェア資産を顧客に提供し、利用料を得る事業です。PC、携帯電話、タブレット端末、スマートフォン等の各種端末を対象とするライブ及びオンデマンドストリーミング、ダウンロードサービスやCDNサービス、配信に伴って利用される付随する各種アプリケーションの提供等が含まれます。

当第2四半期連結累計期間においては、医薬系企業によるオンライン講演会等の情報提供に関連するライブ配信案件の受注が前年に比べ大きく伸びました。また報道関連の大容量情報配信案件があり、ネットワーク売上増につながりました。これらの結果、当事業の売上高は1,687百万円(前年同期比15.1%増)となりました。

(制作・システム開発事業)

制作・システム開発事業は、ウェブサイトやシステム、コンテンツ等の制作・開発を顧客から受託し、成果物を提供する事業です。配信する映像等コンテンツの制作や、コンテンツを視聴する受け皿となるウェブサイトの制作、顧客が一般消費者向けに展開するコンテンツ配信ビジネスや情報提供サイトのシステム開発、更にこれらの運用受託等が含まれます。

当第2四半期連結累計期間においては、スポーツ関連情報サイトの開発や医薬オウンドメディアの構築、企業の海外販売向けサイトの構築等を実施し、前年同期並の推移となりました。映像制作は医薬系企業での利用を中心に販売促進を図りましたが、子会社を含め軟調となりました。これらの結果、当事業の売上高は1,016百万円(前年同期比7.1%減)となりました。

(その他)

その他の売上には案件の進行に伴い随時発生する、上記2事業にあてはまらない売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間におけるその他の売上高は、動画広告に関連するものを中心とし、66百万円(前年同期比49.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

【資産、負債及び純資産の状況】

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,418百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円減少いたしました。これは主に前期末の売掛金回収が進み子会社株式の取得を始め資金の減少を伴う投資活動が活発となっ

たことによるものです。固定資産は1,195百万円となり、前連結会計年度末に比べ203百万円増加いたしました。これは主にソフトウェア開発の増加と子会社株式取得に伴うのれん計上によるものであります。

この結果、総資産は、4,613百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は687百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。これは主に未払金の減少によるものであります。固定負債は長期リース債務の増加等により116百万円となりました。

この結果、負債合計は803百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,809百万円となり、配当金の支払い62百万円がありましたが四半期純利益の計上により前連結会計年度末に比べ127百万円増加いたしました。

【キャッシュ・フローの状況】

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間に比べ125百万円増加し、2,271百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益143百万円の計上、減価償却費138百万円の計上、売上債権の減少149百万円などの資金の増加や未払金の減少77百万円、法人税等の納付93百万円などの資金の減少がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは276百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出208百万円や連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得39百万円などにより、243百万円（前年同期比67.9%増）の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済による支出23百万円や配当金の支払い62百万円などにより89百万円（前年同期比204.0%増）の支出となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月27日に公表いたしました連結業績予想から修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,329,043	1,271,403
受取手形及び売掛金	995,429	874,761
商品及び製品	—	8,240
仕掛品	25,596	41,531
預け金	1,000,000	1,000,000
繰延税金資産	22,356	78,231
その他	120,765	153,455
貸倒引当金	△9,822	△9,472
流動資産合計	3,483,369	3,418,153
固定資産		
有形固定資産	297,244	344,743
無形固定資産		
のれん	68,129	109,766
ソフトウェア	465,827	556,859
その他	8,359	8,182
無形固定資産合計	542,316	674,807
投資その他の資産		
投資有価証券	4,047	4,061
繰延税金資産	9,166	40,101
その他	139,575	131,748
投資その他の資産合計	152,790	175,911
固定資産合計	992,351	1,195,462
資産合計	4,475,720	4,613,615
負債の部		
流動負債		
買掛金	—	22,717
1年内返済予定の長期借入金	—	3,552
未払金	380,355	306,653
未払法人税等	114,825	45,563
賞与引当金	23,518	26,078
資産除去債務	3,167	—
その他	186,295	282,606
流動負債合計	708,163	687,171
固定負債		
長期借入金	—	4,368
繰延税金負債	3,109	134
退職給付に係る負債	14,741	15,435
資産除去債務	22,243	33,167
その他	45,370	63,342
固定負債合計	85,465	116,448
負債合計	793,628	803,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,182,379	2,182,379
資本剰余金	626,241	626,241
利益剰余金	1,093,268	1,225,119
自己株式	△459,221	△459,221
株主資本合計	3,442,668	3,574,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	248	257
その他の包括利益累計額合計	248	257
非支配株主持分	239,175	235,218
純資産合計	3,682,092	3,809,995
負債純資産合計	4,475,720	4,613,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,605,795	2,770,921
売上原価	1,504,140	1,635,645
売上総利益	1,101,655	1,135,276
販売費及び一般管理費	983,583	998,213
営業利益	118,071	137,062
営業外収益		
受取利息	2,954	2,801
保険配当金	1,357	1,435
その他	1,604	2,715
営業外収益合計	5,917	6,953
営業外費用		
支払利息	762	619
その他	—	97
営業外費用合計	762	717
経常利益	123,225	143,298
特別損失		
固定資産除却損	339	79
減損損失	2,478	—
特別損失合計	2,817	79
税金等調整前四半期純利益	120,407	143,219
法人税、住民税及び事業税	47,047	31,196
法人税等調整額	2,603	△81,783
法人税等合計	49,650	△50,587
四半期純利益	70,756	193,806
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7,615	△864
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,141	194,670

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	70,756	193,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	9
その他の包括利益合計	△48	9
四半期包括利益	70,708	193,815
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,092	194,679
非支配株主に係る四半期包括利益	7,615	△864

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	120,407	143,219
減価償却費	133,165	138,927
のれん償却額	8,516	8,516
賞与引当金の増減額（△は減少）	△348	△3,840
貸倒引当金の増減額（△は減少）	3,426	△373
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	479	693
有形及び無形固定資産除却損	339	79
減損損失	2,478	-
受取利息及び受取配当金	△2,975	△2,827
保険配当金	△1,357	△1,435
支払利息	762	619
組合分配損益（△は益）	△330	-
売上債権の増減額（△は増加）	131,355	149,336
たな卸資産の増減額（△は増加）	△13,491	△15,406
その他の資産の増減額（△は増加）	△6,725	△12,401
仕入債務の増減額（△は減少）	-	10,646
未払金の増減額（△は減少）	△90,176	△77,289
その他の負債の増減額（△は減少）	16,131	27,666
その他	△223	△449
小計	301,434	365,682
利息及び配当金の受取額	4,333	4,251
利息の支払額	△762	△534
法人税等の支払額	△56,421	△93,366
営業活動によるキャッシュ・フロー	248,584	276,033
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,198	△58,430
無形固定資産の取得による支出	△104,190	△150,255
敷金及び保証金の回収による収入	2,460	7,498
事業譲受による支出	△10,000	-
投資事業組合からの分配による収入	1,683	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	-	△39,556
資産除去債務の履行による支出	-	△3,167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145,244	△243,911
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△26,566	△23,828
配当金の支払額	-	△62,414
非支配株主への配当金の支払額	△2,960	△3,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,526	△89,762
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	73,813	△57,640
現金及び現金同等物の期首残高	2,072,484	2,329,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,146,297	2,271,403

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	配信	制作・ システム 開発	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,466,515	1,094,373	2,560,888	44,907	2,605,795	—	2,605,795
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	43,569	9,404	52,974	590	53,565	△53,565	—
計	1,510,085	1,103,777	2,613,862	45,497	2,659,360	△53,565	2,605,795
セグメント利益又は 損失(△)	472,128	13,224	485,352	△25,418	459,934	△341,863	118,071

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連や案件受注に伴い発生するドメインの手配代行、機器販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△341,863千円にはセグメント間取引△363千円及び配賦不能営業費用△341,499千円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、総務・経理部門等の管理部門に係る費用及び研究開発費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	配信	制作・ システム 開発	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,687,370	1,016,556	2,703,927	66,994	2,770,921	—	2,770,921
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	35,747	20,469	56,217	11,266	67,483	△67,483	—
計	1,723,118	1,037,026	2,760,144	78,260	2,838,405	△67,483	2,770,921
セグメント利益又は 損失(△)	554,092	△3,843	550,248	△28,668	521,580	△384,517	137,062

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連や案件受注に伴い発生するドメインの手配代行、機器販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△384,517千円にはセグメント間取引△824千円及び配賦不能営業費用△383,693千円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、総務・経理部門等の管理部門に係る費用及び研究開発費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。